

組合が「反対してるから」、会社は締結拒否してない？

## 冗談じゃあない！

JR東海労は、会社からの不当な介入により、未だ「基本協約」締結に至っていません。本部は3月26日、経営協議会であらためて会社の見解を求めました。

その中で丹羽勤労課長は、こともあろうに「JR東海労は、制度に妥結と言いながら主任レポートに反対している。首尾一貫していない組合の方が問題なのだ！」と主張し「基本協約」が締結出来ない理由を、私たちJR東海労に押しつけました。

このことは、明らかに労働組合方針への介入であり不当労働行為です。私たちは、一貫して「制度に妥結する」と通告しているのです。まずは協約を締結するのが労使関係のイロハです。「主任レポート反対」は、あくまで私たちの方針です。会社からとやかく言われる筋合いはどこにもありません。主任レポートは制度の運用上の問題であり、制度そのものとは区別すべき事柄です。制度締結後に、その運用上問題があれば労働組合として改善を求めるのは当たり前のことです。

会社の姿勢は、「言いがかり」をつけ言うことを聞かないJR東海労とは、何がなんでも協約を締結しないことを目的にしているのです。まさに、労働組合の否定であり「命令と服従」の関係を押しつけているのです。

私たちは、このような会社の姿勢に強く抗議します。

**組合方針への介入は許さない！  
協約締結拒否は不当労働行為だ！**